

神田通信力

編集
神田地区
まちづくり
協議会
(事務局)
神田まちづくり
センター
TEL62-7037

令和2年度 神田地区まちづくり協議会書面議決

4月19日(日)に総会を開催予定しておりましたが、このたび、新型コロナウイルス感染拡大防止及び、まちづくりセンター休館の観点から書面議決へと変更いたしました。会員総数115名中97名の書面表決書を提出いただき、第1号議案から第6号議案まですべて過半数の賛成をもって可決されました。

新会長ご挨拶

神田地区まちづくり協議会

会長 藤居徳昭氏



初夏の候、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。私、このたび神田地区まちづくり協議会の会長に就任させていただくことになりました。

もとよりその器ではございませんが、皆様方のご理解とご協力のもと、その職責を果たしてまいりたいと思いますので、何卒宜しくお願い致します。

さて、本年は『新型コロナウイルス』の影響により世界中が大変なことになって皆様方の生活にも少なからず変化があったことと存じます。まちづくり協議会においても、総会が開催できず書面決議となりました。その後のまちづくり協議会のイベントも中止又はやり方の変更を検討しなければならないと思っております。しかし、まちづくりの基本は、住民間のコミュニケーションです。盆踊り・敬老会・運動会・文化祭等神田では多くの住民が集まり、楽しく盛大に行事が行われてきましたが、今年は困難な状況ですので、決して稀薄な地域にならないようにしていきたいと思えます。また、今年は二つの課題について大きく前進させなくてはならない大事な年であります。神田スマートインターチェンジ設置と、神田まちづくりセンター建て替えです。この課題は先を見据えた中長期的な取り組みが必要ですが、早期実現のために議論を深めスピード感をもってやらなくてはなりません。神田スマートインターチェンジ設置は「神田ふるさと創生会議」が昨年に引き続き取り組んでまいります。神田まちづくりセンター建て替えは建設準備委員会が立ち上がり、6月13日に第1回の会合が行われました。両課題共に行政との連携において今年中に地域要望を上げる必要があります。今年の神田地区まちづくり協議会は、例年とは異なり諸行事は変更をしなくてはなりませんが、未来に向けての課題に取り組む大事な年だと認識しております。各町自治会長様はじめ役員の方々にはご苦勞をお掛けしますが、この1年よろしく願いいたします。また住民の皆様にはご指導の程よろしくお願い致します。

まち協へのご意見・ご提案をいただきましたので紹介いたします

- ・生活相談窓口の設置は賛成です。まちづくりセンターが拠点なら大いに活用し、支えあいのまちづくりを期待します。
- ・第四号議案(ビレッジハウス加田よりまち協への助成金引き下げ要望について)について、現在の入居者の変動事情から引き下げは仕方がない。

- ・助成金の負担額を住民一人当たりの基準額を決めて住人数で負担してはどうか。
- ・農村下水処理場を廃止し、早急に公共下水道本管との直結工事を市に要望願いたい。
- ・講堂まで行く道の舗装整備・神社駐車場の県道からの出入り口の急勾配の改善。
- ・町内防犯カメラ設置を推進してほしい。

- ・新型コロナウイルスの感染は、ワクチンや対応新薬が開発されるまで安心できません。今年度も多くの催しを計画されているが、住民の安全、安心を最大限に考慮していただきたい。
- ・町民グラウンド公園に設置されている遊具(滑り台等)を新しく整備してほしい。
- ・以上ご意見、ご提案をいただきました。これらについては、神田連合自治会、加田町会議所等関連団体と連携をとり、検討していきます。

令和2年4月より 長浜南認定こども園へ

年長児10名・年少児14名でスタート(うち園区外通園児8名)しました。毎朝列になって神田山を駆け上がる姿に元気をもらえます。豊富な自然の中での園生活に心も体も健やかに子どもらしく成長することを願っています。そして、このお金で買えない豊かさを市内の多くの子どもや保護者にぜひ知っていただきたいですね。



神田ふるさと創生会議より

6月6日(土)第8回神田ふるさと創生会議を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症等で今年度初の開催。新年度役員改選を行いました。新役員・委員の方々をご紹介します。

令和2年度神田ふるさと創生会議 役員・委員

会 長 藤居徳昭(連合会長・まち協会会長)

副会長 茂森利洋(現副会長)

委 員 地区代表 吉川和男(東町) 小川淳三(西町)
河崎博幸(南町) 田中一徳(北町)
伊藤俊三(栄町) 押谷浩一(新町)

(ピレージは選出なし・今町は会長副会長が兼務)

会長推薦 大橋松行(前会長)

特別委員 東野正雄(会議所総代)

顧 問 伊藤喜久雄(市議会議員)

事務局 伊藤義弘・西堀美津子(神田まちづくりセンター)

議題は、まず「神田まちづくりセンター建設準備委員会設立」について報告。委員はセンター建設に関連ある各種団体に依頼し選出していただき了承をいただく。次に「まち協総会書面決議書のご意見」について。こちらの件はまずもってふるさと創生会議に諮り、まち協役員会にて議論していただく形を取りたいということで了承をいただく。最後に、神田スマートインターチェンジ(神田SIC)整備計画の状況について。市としては今年中に国の「準備段階調査箇所」選定に向けての準備を進めているが、感染症等の件で当初の計画より遅れている。しかし、担当課としては、今年中に申請ができるよう着実に進めている。また、庁舎内の様々な課に所属する若手職員を集め「南長浜活性化ワーキング会」結成。南長浜地域の未来について市としても考えている。委員より「では、具体的な話を市より直接聞く機会を設けては」との声上がり7月30日(木)市より来ていただき、神田ふるさと創生会議・西黒田ふるさと振興会議・西黒田まちづくり研究会・田村町まちづくり委員と合同で「神田SIC基本計画検討業務」について市より経過説明いただきます。

施設にし、神田山やグラウンドを含めた神田地域全体の地域づくりへとつなげていく。これらを踏まえ、第二回委員会を七月四日(土)開催。神田にふさわしいまちづくりセンターとなるように、まず、市内まちづくりセンターの仕様と特徴を検証し視察先を選定。七月二十二日(水)市内まちづくりセンターの視察を予定。

神田まちづくりセンター建設準備委員会キックオフ！

委員

川崎節夫(八坂神社総代)

茂森利洋(神田ふるさと創生会議)

伊藤俊三(神田ふるさと創生会議)

伊藤喜久雄(長浜市議会議員)

伊藤義弘・西堀美津子

(神田まちづくりセンター)

顧問

初顔合わせにもかかわらず、委員の皆様方から活発かつ積極的なご意見をいただきました。

【今後の課題】

・建設までのスケジュールにスピード感をもって計画する。(通常パターンの基本構想・基本計画といった形式的なにとらわれることなく)

・建物の広さ等センターにどのような機能をも

・建物にふさわしいまちづくりセンター(神田スタイル)を考え、今以上地域に愛される

・町民や施設利用者の意向を大切に。 (アンケート等)

・講堂ありきではなく、柔軟に存続または、撤去各々パターンを想定し、将来を見据えて、冷静な目で評価し決める。

・神田にふさわしいまちづくりセンター(神田スタイル)を考え、今以上地域に愛される

たせるか。

・新築建物の配置(場所の選定)

・神田講堂の処遇をどうするか

・長浜南こども園とのかかわり方について

【取り組みのための方策】

・市内まちづくりセンター仕様、機能を検証し、先進地の視察。

・町民や施設利用者の意向を大切に。 (アンケート等)

・講堂ありきではなく、柔軟に存続または、撤去各々パターンを想定し、将来を見据えて、冷静な目で評価し決める。

・神田にふさわしいまちづくりセンター(神田スタイル)を考え、今以上地域に愛される

・町民や施設利用者の意向を大切に。 (アンケート等)

・講堂ありきではなく、柔軟に存続または、撤去各々パターンを想定し、将来を見据えて、冷静な目で評価し決める。

・神田にふさわしいまちづくりセンター(神田スタイル)を考え、今以上地域に愛される

・建物にふさわしいまちづくりセンター(神田スタイル)を考え、今以上地域に愛される



神田講堂(旧神田尋常高等小学校講堂)
昭和10年建築(築85年経過)



現:神田まちづくりセンター
昭和55年建築(築41年経過)